

# コラム「子どもたちのいる場所から」

## 梅雨と夏の美しさ

梅雨の走りのような雨と夏の足音が聞こえてきそうな晴れ間が忙しなく空を覆う日々で、体調管理が難しい気候ですが、どうぞご自愛ください。

さて、げんこつは先日、お借りしている田んぼで「しろかき」という名の泥遊びを行いました。この時期の泥は陽射しの暖かさを受けているため、少し暖かく気持ちよさを覚えます。そんな条件もあってか、泥遊びをしている子どもたちの表情は、それはとても楽しそうでした。だけど、楽しいのには、他の理由もあるのかな、と考えました。日頃、衣類や身体を濡らすこととは、「どこか悪いこと」「怒られること」のように、私たちは思っています。しかし、そうだったことほど、実は楽しくて、面白いことと感じます。そして、それを他者と共有すれば、「仲間意識」というコミュニケーション力の養いになります。

汚れた姿の子どもたちの様子が、とても美しく見えた泥遊びの一日でした。

学童保育・放課後等デイサービス・発達支援  
 セミナール(学習支援)・フリースクール  
**NESげんこつ便り**  
 2018 6月号  
 埼玉県越谷市北越谷1-23-1  
 ☎ 048-977-8888  
 ホームページ <http://gannkotu.jp>  
 ☆インスタグラム、ツイッターも開設しています☆



## げんこつの景色



お借りしている田んぼで「しろかき」をしました。泥が暖かくて、とても気持ち良かったです。



勉強部屋の様子より。オセロで遊ぶ事で、頭を使って、没頭性や理解性を高め、自身が学習しやすい状況になります。



自転車教室、始めてます。自転車の楽しさ、怖さを子どもたちと共有し、運転技術の向上を図っています。

## 編集後記

先日、知人と談笑をしていた際、「うまくいかないことを面白がるかどうかって、大事だよね」という意見を聞きました。自身の、他人の失敗を面白く捉えられる感覚は、こんな時代だからこそ、持っていたいと思った貴重な意見でした。

## 健康便り

近年、日本国内では、発症の少なかった「はしか」の感染が増えています。あらゆる合併症のおそれもある「はしか」は、風邪やインフルエンザと症状が似ているため、発症を見抜くのは難しいです。「はしか」の感染は、接触や飛沫が多いそうです。なので、手洗い、うがいを行う事や咳やくしゃみが多い場合はマスクの着用などをする事が、予防や感染の拡大を防ぎます。気候が目まぐるしく変わる季節だからこそ、健康管理を丁寧に行いましょう。

## 保育時間etc

### ●平日の場合

学童保育  
 放課後～19:00  
 放課後等デイサービス  
 12:00～18:00  
 フリースクール・  
 通信制サポート校生  
 10:00～15:00 or 18:00

セミナー  
 19:00～20:00

### ●土曜の場合

学童保育  
 8:00～19:00  
 放課後等デイサービス  
 10:00～18:00  
 フリースクール・  
 通信制サポート校生  
 10:00～15:00 or 18:00

※早朝・祝日の保育、  
 時間延長、自宅への送迎等  
 承っております。  
 お気軽に相談ください。

※行事の詳細は、別紙にて  
 お知らせする予定です。

# げんこつのスケジュール

## ●平日

10:00 ・フリースクール部  
入室  
～  
14:00 ・課題時間  
・昼食・昼休み

14:00 ・入室  
(学校お迎え)  
～  
16:00 ・おやつ・室内保育

16:00 ・移動→公園保育  
(北越谷第五公園)  
～  
17:00

17:00 ・移動→帰室  
・全体会  
(げんこつからの  
お知らせ、  
19:00 児童の発表等)  
・掃除  
(月、水、金)  
・室内保育  
・退室  
(自宅へお送り)

## ○土日・祝日・長期休み (イベントの無い日)

10:00 ・入室  
(自宅お迎え)  
～  
13:00 ・室内保育  
・昼食・昼休み

13:00 ・掃除  
～  
17:00 ・移動→郊外保育  
・おやつ

17:00 ・移動→帰室  
～  
19:00 ・室内保育  
・退室  
(自宅へお送り)

## 入室生募集中♪

学童保育・放課後等デイサービス  
フリースクール・ゼミナール(学習支援)



NESげんこつ  
NEW EDUCATION SCHOOL

障がい児学童保育・通信制サポート校  
自立支援教育相談・カウンセリング

★送迎(自宅・学校)

★土曜、長期休みの保育

★延長保育 ★割引制度 ★宿題対応  
承ります。

★その他、詳しい内容は  
お気軽に申し付けください。  
家庭、学校、地域、機関、  
げんこつ。社会全体で  
子どもを育てましょう。